

## 宮城県版保幼小接続期カリキュラムについて

## 1 策定の趣旨

宮城県では、幼児期を「学ぶ土台づくり」の時期として捉え、家庭・幼稚園・保育所等のいずれにおいても充実した幼児教育が行われることを目指し、現在、第3期「学ぶ土台づくり」推進計画（平成30年3月策定）（以下、「第3期計画」という。）に基づき、各種事業や取組を実施している。

第3期計画において、保幼小の連携と小学校への円滑な接続を重点事項の1つに位置づけており、今年度新たに子供の発達と学びの連続性及び一貫性を考慮した接続期カリキュラムのモデル例を策定し、市町村教育委員会及び幼児教育機関への普及啓発を図るもの。

## 2 策定経過

開催期日	実施内容
平成30年6月11日（月）	第1回幼小接続期カリキュラム作成会議 ・幼小接続期カリキュラム及び実践のモデル例作成について
平成30年9月11日（火）	第2回幼小接続期カリキュラム作成会議 ・カリキュラム原案の検討
平成30年11月26日（月）	第3回幼小接続期カリキュラム作成会議 ・カリキュラム原案（修正版）の検討
平成31年2月19日（火）	第4回幼小接続期カリキュラム作成会議 ・カリキュラム最終案の確認

## ※幼小接続期カリキュラム作成会議 委員名簿

	区分	所属団体・役職等	氏名	
1	学識関係者	宮城教育大学 教授	佐藤 哲也	座長
2	学識関係者	仙台大学 准教授	柴田 千賀子	
3	幼児教育関係者	宮城県国公立幼稚園・こども園協議会 (川崎町立富岡幼稚園 園長)	石井 敬子	
4	幼児教育関係者	宮城県私立幼稚園連合会 常任理事 研究委員長 (しげる幼稚園 園長)	小野寺 靖子	
5	幼児教育関係者	宮城県保育協議会 (荒井マーヤ保育園 園長)	瀬尾 明子	
6	学校関係者	宮城県小学校長会 (大和町立鶴巣小学校 校長)	渡邊 清孝	
7	学校関係者	塩竈市教育委員会 指導班 次長 指導主事	星 篤	
8	県関係者	子育て社会推進室 子ども子育て支援専門監	佐々木 貴子	
9	県関係者	北部教育事務所 指導班次長 指導主事	成瀬 陽子	
10	県関係者	総合教育センター 教職研修班 主幹	本田 結城子	

### 3 宮城県版保幼小接続期カリキュラムの主な特徴

市町村教育委員会が接続期カリキュラムに取り組む必要性を示すとともに、実践する上での手引きとして活用する「リーフレット」と、先行事例の紹介も含め、地域の実情を踏まえた接続期カリキュラムの実践の参考として活用する「資料編」で構成。

#### (1) リーフレット

幼児教育関連施設と小学校に求められている役割を踏まえ、子供の発達と学びの連続性及び一貫性を考慮し、保育と教育の円滑な接続を図るため、保幼小接続期カリキュラムに関するリーフレットを作成し、実践を促すもの。

##### 構成

##### 1 保幼小接続期カリキュラムとは

⇒接続期カリキュラムの定義と作成のポイントを記載

##### 2 宮城県内の取組

##### 3 幼児期から学童期への学びのイメージ

⇒本県の取組状況と、「学ぶ土台づくり」から「みやぎの志教育」へのつながりのイメージを掲示

##### 4 アプローチカリキュラム実践の流れ

##### 5 スタートカリキュラム実践の流れ

⇒2つのカリキュラムの共有とPDCAサイクルによる実践の例示

##### 6 振り返り

⇒チェックシートにより接続期カリキュラムの取組状況を点検

#### (2) 資料編

保幼小接続期カリキュラムの作成と運用に当たり、地域や施設の特性を考慮しながらそれぞれの保育や教育の実情に合わせて実施できるように、さらには保幼小と各市町村の教育委員会が連携して取り組めるようにするため、作成例と取組事例を取りまとめたもの。

##### 構成

##### 1 カリキュラム作成の視点

##### 2 カリキュラム作成の視点と具体例

⇒3つの視点（生活をつなぐ、人をつなぐ、学びをつなぐ）

##### 3 アプローチカリキュラム例

##### 4 スタートカリキュラム例

⇒カリキュラムの作成例を掲載

##### 5 保幼小接続期カレンダー

⇒様々な取組をカレンダーにまとめ、接続期の1年間の活動を例示

##### 6 指導要領等における保幼小の接続に関する記載

##### 7 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

⇒保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領等を掲載

##### 8 県内の取組紹介

⇒塩竈市と白石市の接続期カリキュラムの作成例を紹介